

緩和ケアの基本姿勢、理論、そして今求められている緩和ケアとは。
日々の診療に役立ち、明日から臨床で実践できる具体的な方法とは。
私たちは緩和ケアの普及と実践でQOLの向上を目指します。

PEACE
Palliative care Emphasis program on
symptom management and Assessment
for Continuous medical Education



がんの痛みやつらさを、 がまんしない。 がまんさせない。

医療従事者、医療関係者、
都道府県担当者(保健医療関係)、
患者団体、市民団体など、
広く医療に携わる方々の
シンポジウムへのご参加を
お待ちしております。



緩和ケアの今がわかる!!

2月24日(日)

緩和ケア普及啓発シンポジウム 主催：特定非営利活動法人 日本緩和医療学会

入場無料

「がんと診断された時からの緩和ケア」

～苦痛を軽減して、前向きにがん治療に取り組む～

2013年2月24日(日) 13:30～17:00 日経ホール (東京 大手町) 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7

基調講演

- 13:40～14:00 『最近の緩和ケアに関する動向(診断時からの必要性)』
～調整中～
- 14:00～14:20 『告知及びコミュニケーション』
加藤 雅志 国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部長
- 14:20～14:40 『診断時からのがん疼痛緩和』
細川 豊史 特定非営利活動法人日本緩和医療学会 理事長
- 14:40～15:00 『がん看護カウンセリング』
梅田 恵 株式会社緩和ケアパートナーズ

パネルディスカッション

「診断時からの緩和ケア」を実践するにはどうしたらよいか?
コーディネーター 木澤 義之 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 副理事長
濱 卓至 大阪府立病院機構大阪府立成人病センター 心療・緩和科副部長

パネリスト

「患者の立場から」：～調整中～
「オンコジストの立場から」：佐藤 温 弘前大学大学院 医学研究科 腫瘍内科学講座 教授
「看護師の立場から」：梅田 恵 株式会社緩和ケアパートナーズ
「緩和ケア医の立場から」：三宅 智 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授
「精神腫瘍医の立場から」：加藤 雅志 国立がん研究センターがん対策情報センター がん医療支援研究部長

主催：特定非営利活動法人 日本緩和医療学会

*プログラム及び講演者は予定であり、最新プログラムはWebサイトをご覧ください。

問い合わせ先 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 事務局 E-mail : itaku@jspm.ne.jp お申し込み URL : <http://www.kanwa-sympo.jp/>